

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 熊本県 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	・甲佐町立甲佐小学校5年（29人）・6年（29人） ・甲佐町立白旗小学校5年（20人）・6年（14人） ・甲佐町立乙女小学校5年（18人）・6年（14人） ・甲佐町立龍野小学校5年（25人）・6年（29人）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（甲佐小 体育2時間・白旗小 創意2時間 乙女小 総合1時間、学活1時間・龍野小 体育1時間、総合1時間） ② 行事名（オリンピックとふれ合おう） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	・オリンピックの講演・実技などを通して、オリンピックについて興味・関心を高めることができるようにする。 ・夢を叶えるために、スポーツを通して、目標を持ち、努力することの大切さを知る。
5 取組内容	・事業の目的、講師の紹介を会場校の福田校長が話した。 ・バドミントンオリンピックの水井妃佐子様の講演を聞いた。 「夢を叶えるために」の演題で、夢を叶えるために、あきらめずに努力することの大切さを知ることができた。 ・バドミントンオリンピックの水井妃佐子様、アトランタオリンピック候補選手の松隈三千穂様の実技指導が行われた。実際にラリーやスマッシュ等の模範実技があり、子どもたちは、本物のプレーに驚いていた。 ・質問コーナーでは、多くの質問があり、子どもたちとの交流の時間をもつことができた。
6 主な成果	・オリンピックに対する興味関心、理解や期待が高まった。 ・バドミントンをやってみたいという思いをもち、学校で、バドミントンクラブをつくってほしいと願う子どもが多数いた。 ・水井選手の講演を聞いて「夢や目標をもって努力していきたい。」「夢を叶えるために逃げないという気持ちが強くなった。」「水井さんのように練習をがんばって強くなりたい。」などの感動をもつことができた。

	・講演・実技を通して夢に向かってがんばることの大切さを実感したり、スポーツに対する関心が高まったりした。 ・このイベントを通して、以前よりバドミントンへの関心が高まり、東京オリンピック・パラリンピックでもバドミントン選手を応援したいと思った児童が多くいた。 ・アンケート結果から全体を通して、東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・オリンピックの講演・実技を組み合わせることで、よりバドミントン、スポーツに対して興味関心を高めるイベントになるようにした。 ・子どもたちが実技に参加することで、よりバドミントンを身近に感じることができ、バドミントンの楽しさも実感できるようにした。 ・オリンピックへの質問コーナーを設け、子どもとの交流の場をもつようにした。
8主な課題等	・オリンピック・パラリンピックに対する関わりが5・6年生のみだったので、他学年も関わることができ、興味関心がわくような取組ができるとよい。 ・このイベントだけの学習に終わらないように学習を継続させていきたいが、授業時数なども考慮して取り組んでいくことが必要である。 ・本取組を行う際の授業時数の取り扱いや確保をどのようにしていくか。 ・オリンピックが来られるので、もっと聴きたい人への呼びかけをしてもよかった。
9来年度以降 の実施予定	・1年生から6年生までの全児童が関わるができる活動があるとうい。 ・次回もぜひ、オリンピックの選手の方との交流ができればよい。 ・他の種目、例えば、陸上での走り方の指導なども開催できたらいいと思う。 ・来年も早い段階でオリンピックについて触れる機会があるといいと思う。